

見立番付の見方

東西の序列

右側を東の方、左側を西の方として左右に振り分ける。東の方と西の方で同じ位置に同じくらいの高さの人・ものが並ぶ。

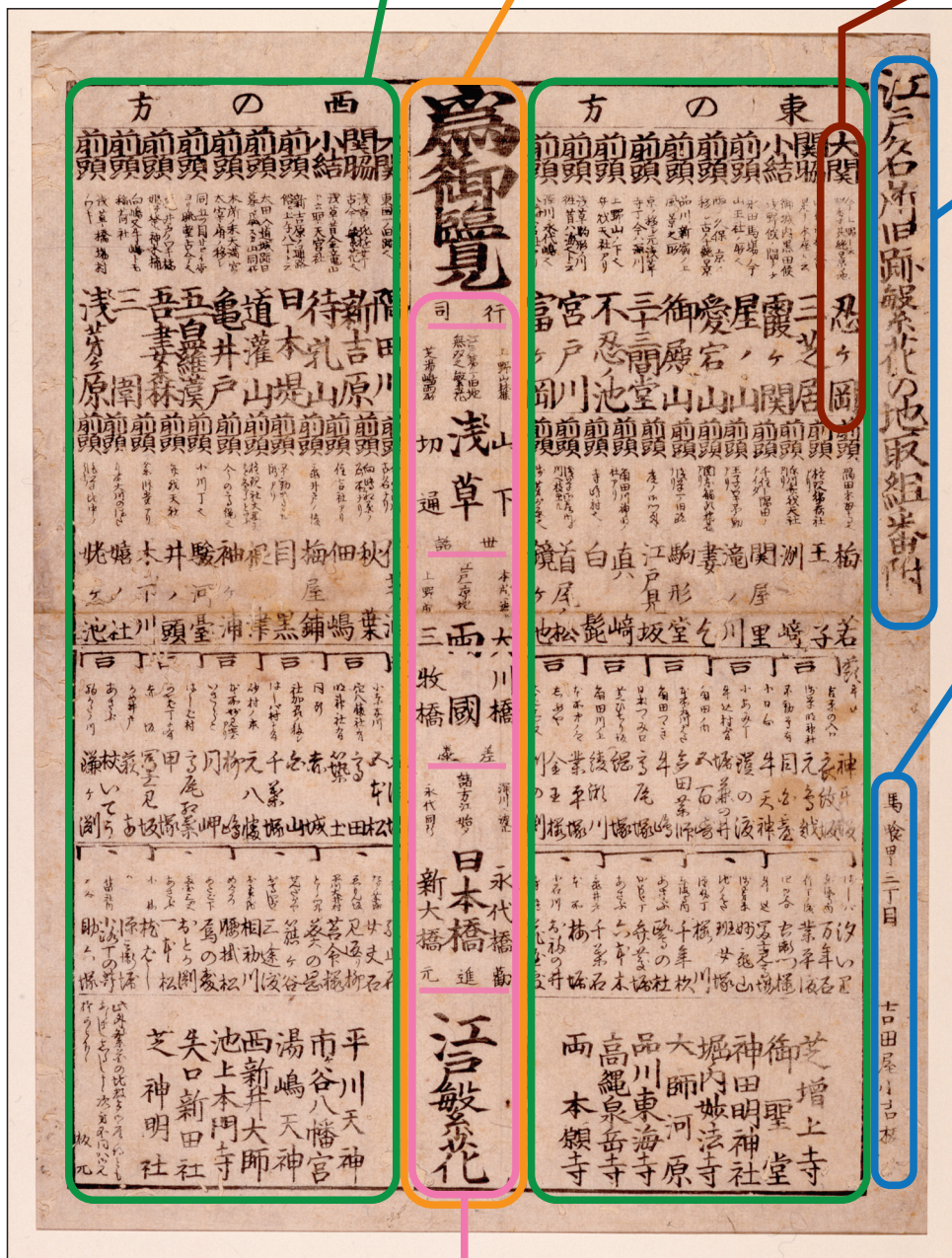
中軸

番付の真ん中の太い文字で書かれている部分。相撲番付では「蒙御免」（奉行所の許可を受けたという意味）と書かれているが、「見立番付」では「為御覧」などと書かれている。

役と項目・名前

大関、関脇、小結、前頭の順番で、上位のもの（いいもの・強いもの）から「格付け」をする。役が下になるほど文字は小さくなり、上下関係がはっきりと示される。

江戸名所旧跡繁花の地取組番附
江戸時代 江戸東京博物館蔵



番付タイトル

番付のテーマが書かれている。

版元

この番付を発行した人・場所の名前。書かれていない事の方が多。

勧進元

行司・差添・世話人

興行の主催者のこと。見立番付では番付のテーマとしているものの中で、誰もが認める特別な人・ものが選ばれる。

行司・差添・世話人

勧進元に次いで格付けの判断をするのにふさわしい人・ものなど、誰もが認める大物が選ばれる。